

家庭学習のすすめ

大館市立釈迦内小学校 学習指導部

小学校の学習は、将来自立した社会人となるための基礎となる大切なものです。特に、「読むこと」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読み取ること」「計算すること」は、欠かすことのできない大事な力です。学校では、この基礎学習を高めるために頑張っています。家庭と協力することにより、さらにその力が何倍にも高められます。1年生から6年生までの継続的な取り組みと励ましが必要です。学年に合わせて家庭学習を効率的に進めることができるように、ご家庭のご協力を宜しくお願いします。

1 家庭学習の習慣化

- 学習時間のめやす
・10分×学年＋10分



○学習のポイント

- ・テレビを見ながら勉強しない。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・ノートの書き方や内容などを工夫して書く。

○家庭学習は、規則正しい生活から

- ・早寝、早起き、朝ご飯、朝の排便
- ・テレビやPCの使用について、約束を決める。(合わせて、1時間まで)
- ・前日に、時間割に合わせて学習用具を準備する。

2 保護者の方へ

- ご家庭で、毎日の生活の中のどこに家庭学習を取り入れたらいいのかをお子さんと話し合ってみてください。

* 学習中は、テレビを消すなど、学習に集中できる環境であるように、ご家族で約束などを決めるといいですね。

- お子さんの家庭学習ノートに目を通し、頑張りを認めたり、励ましたりすることで、お子さんの意欲が高まります。ぜひ、見てあげてください。



3 各学年でつきたい力

1年生

- ・平仮名やカタカナを讀めて書ける。
- ・80字の配当漢字が全部讀めて書ける。
- ・助詞(を・は・へ)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ・足し算、引き算ができる。
- ・鉛筆を正しく持って字を書いたり、定規で線を書いたりできる。

2年生

- ・160字の配当漢字が全部讀めて書ける。
- ・主語と述語が分かる。
- ・九九がすらすら唱えられる。
- ・定規を使って筆算をきれいに書き、正しく計算できる。
- ・決められた長さの直線を正しく引ける。

3年生

- ・200字の配当漢字が全部讀めて書ける。
- ・修飾語の意味が分かる。
- ・国語辞典を正しく使うことができる。
- ・ローマ字を讀めて書ける。
- ・かけ算の筆算、割り算ができる。
- ・量りを使って重さが正しく読める。

4年生

- ・202字の配当漢字が全部讀めて書ける。
- ・ローマ字を適切に読み書きできる。
- ・漢字辞典を正しく使える。
- ・割り算の筆算ができる。
- ・倍を使った文章題が正しくできる。
- ・コンパスを使って簡単な図形が書ける。
- ・県名が漢字で書ける。

5年生

- ・193字の配当漢字が全部讀めて書ける。
- ・今まで習った熟語が書ける。
- ・100字程度の意見文が書ける。
- ・小数のかけ算、割り算ができる。
- ・分母が同じ分数の計算ができる。
- ・割合、百分率を使った問題が解ける。
- ・理科の実験器具の名前や正しい扱い方が分かる。
- ・パソコンでローマ字入力できる。

6年生

- ・小学校の学習する漢字全てが讀めて書ける。6年生は191字
- ・小学校で習う熟語の意味が分かり、正しく書ける。
- ・約分、通分、分数の足し算、引き算、かけ算、割り算ができる。
- ・世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ・歴史上の出来事や人物について説明できる。
- ・理科の実験器具の名前や正しい扱い方が分かる。

* 家庭学習の内容については、各学年から出される「家庭学習の手引き」を参考にしてください。

4 生活の中で学力向上

- ◇日頃から読書に親しむ。
- ◇国語辞典、漢字辞典、図鑑類を身近に置いて調べる。
- ◇日本地図、世界地図、地球儀などを身近に置いて調べる。
- ◇ニュースや新聞の話題を親子で話し合う。

